

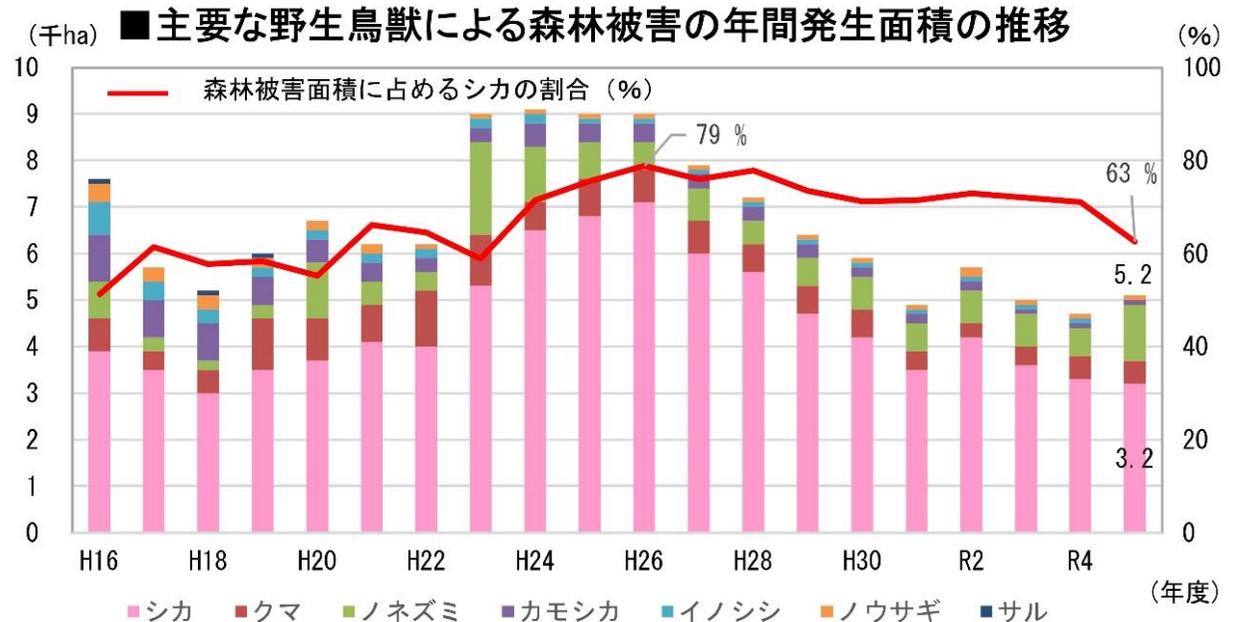
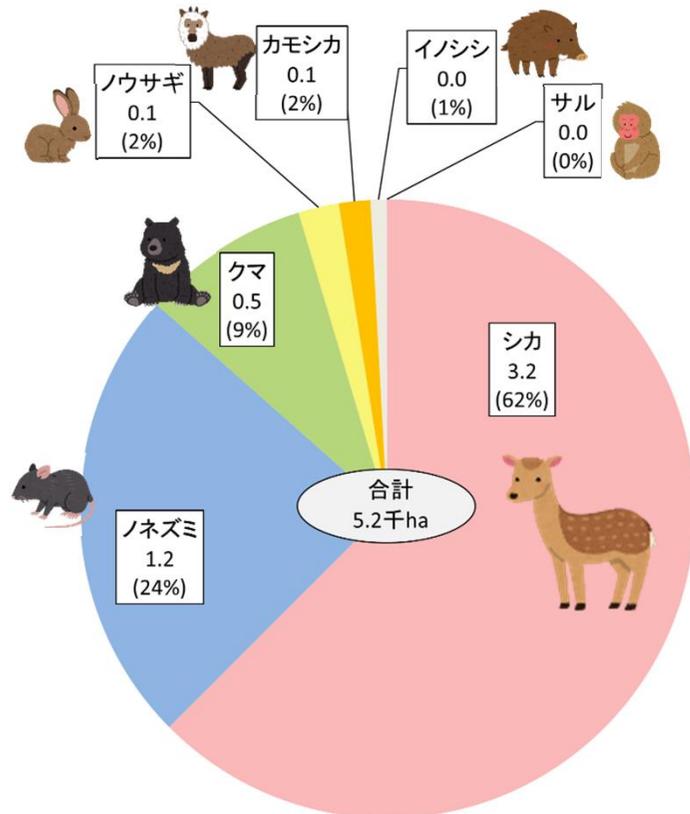
# 中部森林管理局における獣害対策の取組

【令和6年度版】

林野庁 中部森林管理局

# I 日本の森林における鳥獣被害

- ・日本の森林における鳥獣被害面積は、年間約5千haとなっています。（R5年度／林野庁調べ）
- ・このうち、シカによる枝葉の食害や剥皮被害が全体の約6割を占めていて、深刻な被害となっています。



出典：林野庁業務資料

出典：林野庁HP <https://www.rinya.maff.go.jp/j/hogo/higai/tyouju.html>

剥皮の状況



カラマツ人工林

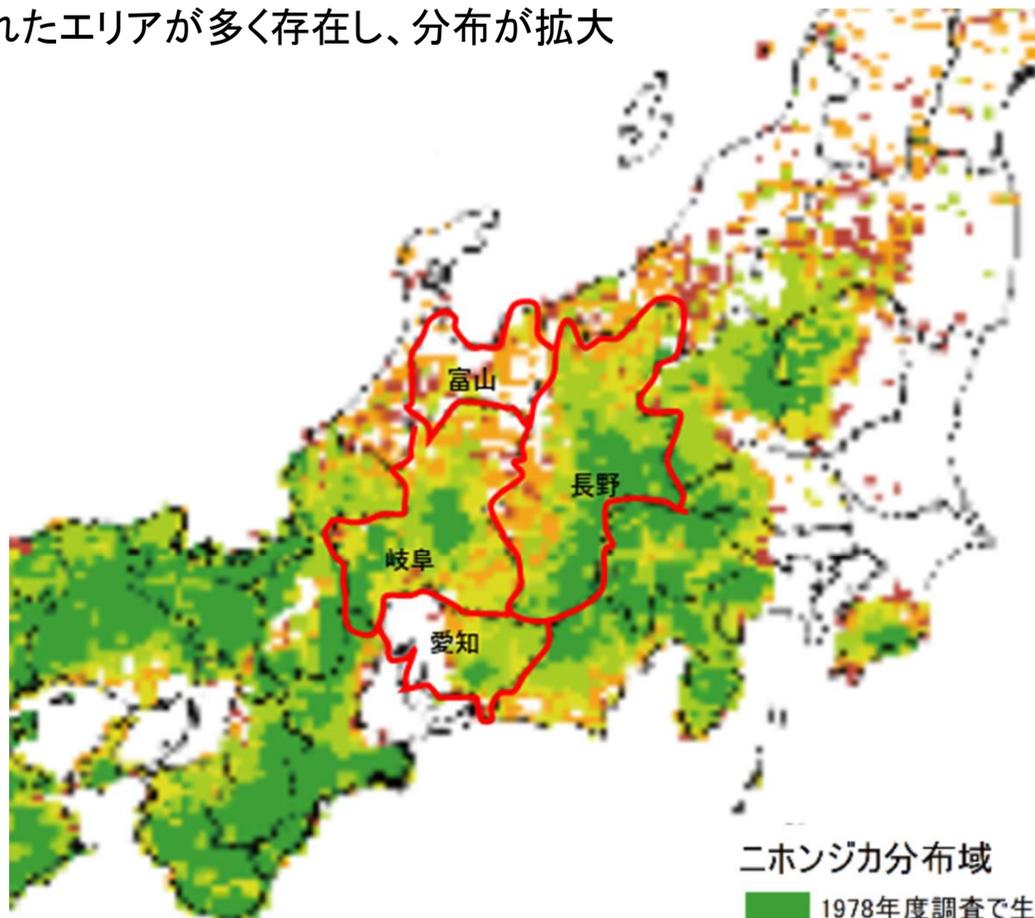
美ヶ原高原



## Ⅱ 中部局管内(4県)のニホンジカ生息状況

### ニホンジカの分布状況とその変化

2014年度の調査以降、富山では新たに生息が確認されたエリアが多く存在し、分布が拡大



ニホンジカ分布域

- 1978年度調査で生息を確認
- 2003年度調査で新たに生息を確認
- 2011年度調査で新たに生息を確認
- 2014年度調査で新たに生息を確認
- 2020年度調査で新たに生息を確認

※「令和2年度ニホンジカ及びイノシシの個体数推定及び生息状況等調査業務」(環境省)を基に中部森林管理局にて作成  
2020年度(令和2年度)調査は、2018年度(平成30年度)までの捕獲データから、2021年(令和3年)3月に分布状況を取りまとめたもの。

### 樹木の被害



人工林ヒノキの皮剥被害(南信署)



亜高山帯の剥離被害(八ヶ岳)

### 高山植物の被害



# Ⅲ 中部森林管理局の取組

中部森林管理局では、ニホンジカの被害の低減に向けて、地方自治体、猟友会、対策協議会、学識経験者等と連携しながら、「守り」(防護)と「攻め」(捕獲)の両面でシカ被害対策に取り組めます。

## 1. 防護柵等の設置



人工林や山腹の治山施設を保護するため、また関係機関や地域ボランティア等と連携して希少植物を保護するため、防護柵等を設置します。

## 2. ニホンジカの生息状況調査

自動撮影カメラによる生息状況調査やライトセンサス調査等で得られた情報を地域で共有し、効率的な捕獲を推進します。

## 3. 新たな捕獲技術の検証

捕獲事業で特に危険が伴うツキノワグマの錯誤捕獲を回避するわなの活用、ブロックディフェンスとくくりわなを組み合わせた捕獲に取り組めます。

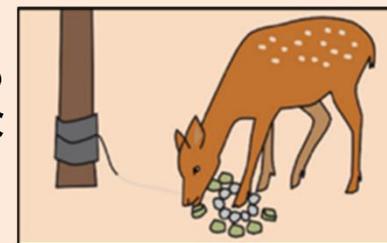
## 4. くくりわな見回りの効率化

捕獲事業において最も時間を要するわなの見回り労力の軽減を図るため、捕獲状況通報機器の活用を推進します。

## 5. 小林式誘引捕獲法の普及

林野庁職員が開発した、シカの習性を活用して初心者でも高い捕獲効率が期待できる「小林式誘引捕獲法」を積極的に普及します。

また、事業者への委託による捕獲のほか、猟友会等へのわなの貸出しなど、地域ぐるみの取組を行います。



## 6. その他

鳥獣の保護や狩猟に関する制度及び獣害対策に関して、職員の意識と知識を向上させるため、講習会や検討会を実施します。



鳥獣保護・狩猟等に関する講座、講習事例  
(愛知森林管理事務所) (木曾森林管理署南木曾支署)

# 1. 防護柵の設置

## 防護柵の実績

ニホンジカによる食害から造林地の植栽木を守るため、また山腹工等の治山施設等の保護を目的として、ニホンジカの侵入を防ぐ防護柵の設置を行っています。

### 新設防護柵の延長

	H20 ~21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	累計
延長 (km)	12	8	5	1	11	24	27	21	26	24	33	43	30	22	18	305



低コスト化を図るため  
立木を利用した防護柵  
(東濃署)

## 高山植生の変化(八ヶ岳 麦草峠園地)



ボランティアによる高山帯での  
防護柵設置作業(南信署)

八ヶ岳の麦草峠園地では、平成21年に地元の協議会、ボランティア、南信森林管理署が連携して防護柵を設置してきており、現在は元の姿に戻りつつあります。



食害前(～平成10年)  
様々な高山植物が色鮮やかに  
開花している。



食害発生(平成20年頃)  
シカの食害により高山植物が  
衰退し、全体が草地となる。

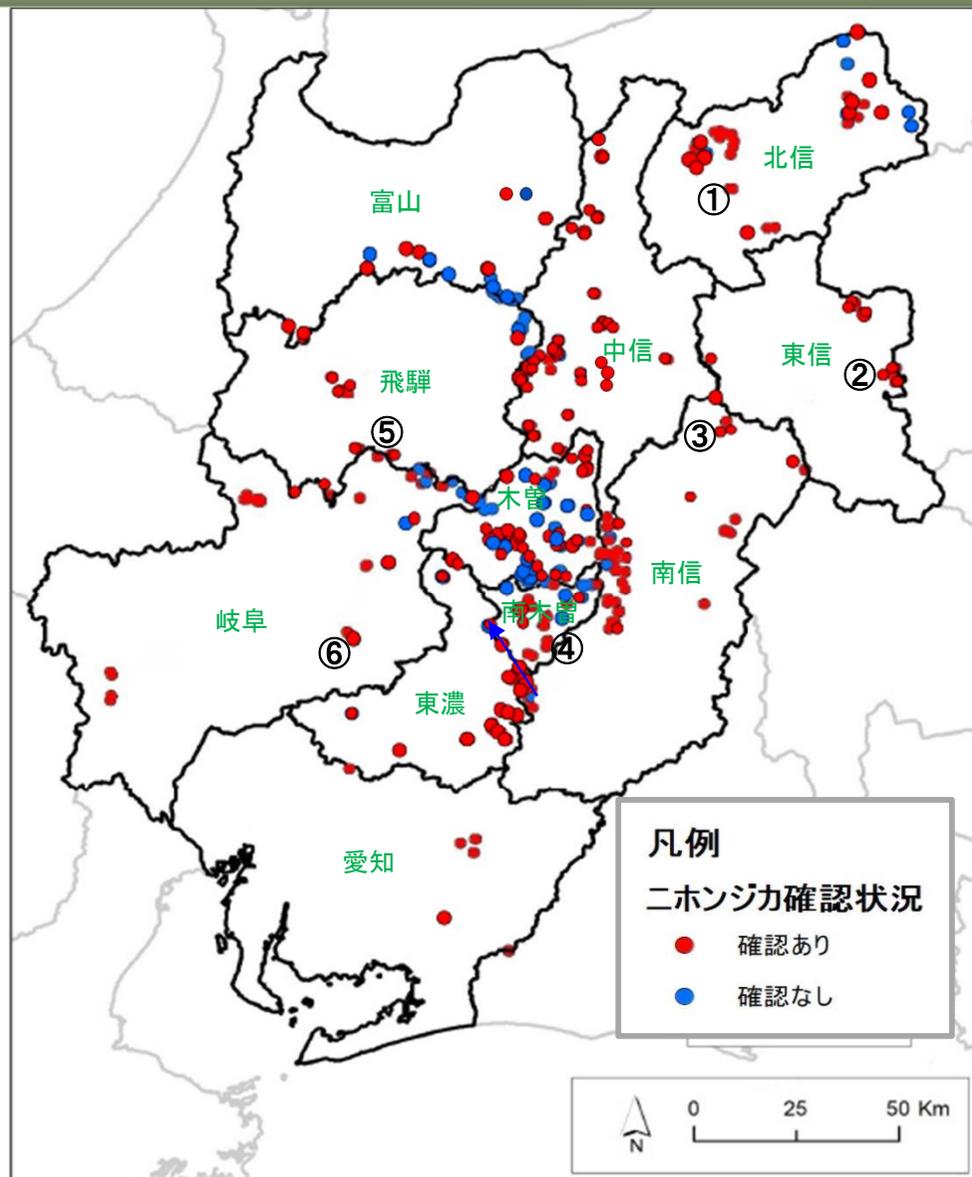


柵設置後(平成30年～)  
防護柵により、高山植物が  
徐々に回復している。

## 2. ニホンジカの生息状況調査

ニホンジカの生息範囲を把握するため、山地帯から高山帯の広範囲に設置した自動撮影カメラ(令和5年:301台)や夜間調査(ライトセンサス)により生息状況を調査しています。調査で得られた情報は、地元市町村や猟友会等に提供するなど地域と一体となったニホンジカ対策に取り組んでいます。

### 自動撮影カメラのデータにより確認したニホンジカの生息状況



① (北信署 朝日山国有林)



② (東信署 荒船山国有林)



③ (南信署 東俣国有林)



④ (南木曾支署 南木曾国有林)



⑤ (飛騨署 牛牧国有林)



⑥ (岐阜署 七宗国有林)

### 3. 新たな捕獲技術の検証

#### ◆ 錯誤捕獲防止対策

くくりわなには、捕獲目的でない他の動物が捕獲(錯誤捕獲)されることがあります。特に、ツキノワグマの錯誤捕獲は危険な放獣作業が必要なため、シカ対策において大きな課題です。このため、クマの錯誤捕獲を回避できるわなの効果や捕獲効率の検証に取り組んでいます。

#### ◆ ブロックディフェンスとくくりわなを組み合わせた捕獲

シカが利用していた既存の作業路を遮断しないように、作業路の上部と下部をブロック状に分けて防護柵を設置し、防護柵間の作業路を通り道として利用するシカの捕獲を試みています。

#### くくりわなの錯誤捕獲防止対策

脚の細いシカは踏み抜けるが、クマの平足では踏み抜きにくい形状のプレートと踏み込み式のくくりわなを組み合わせたわなにより、クマ錯誤捕獲を回避した捕獲に取り組んでいます。



中信森林管理署  
(金松寺山国有林)



クマ踏み抜きを防止するプレートと踏み込み式わな

#### ブロックディフェンスとくくりわな捕獲

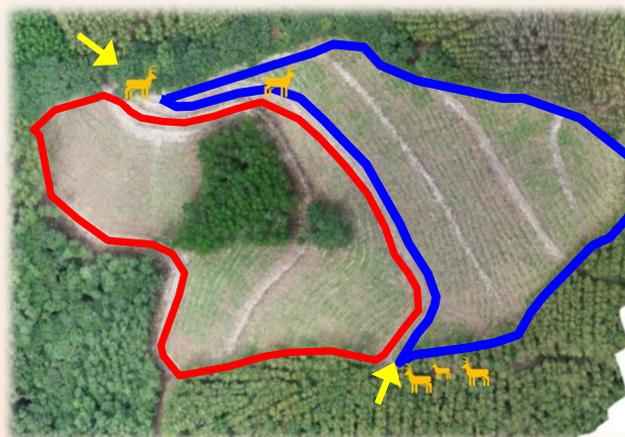
シカの通り道が限定されることで、効果的な捕獲が期待されます。令和6年度は、通り道の出入り口を中心に誘引捕獲を実施し、給餌方法と誘引方法を検証します。



シカの移動の様子(R6.5)



捕獲の様子(R6.6)



南信森林管理署  
(東俣国有林)

凡例	
	道上柵
	道下柵

造林地全体のブロックディフェンスの配置



## 4. くくりわな見回りの効率化(わな捕獲通報システムの実証・導入)

### 現在使用中の通報システム一覧



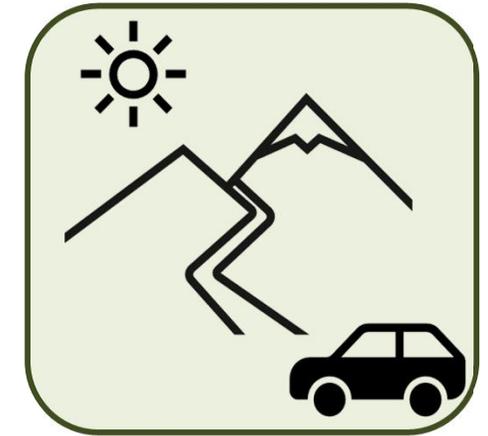
取組署等	通信方法	センサー	使用機器 導入年度	使用数 (子機)	取組署等～現地までの距離		取組署等～現地まで の所要時間
					直線距離	道路距離	
東信署	無線・携帯電話 (SMS)	マグネット着脱式	H27	30	約11km	約16km	約25分
南信署	LP-WAVE ※ 制作元の独自の通信技術	マグネット着脱式	H30	16	約35km	約49km	約60分
愛知所	LPWA無線通信・モバイル回線	赤外線感应型	R1	50	約25km	約45km	約75分
南木曾支署	LPWA無線通信・モバイル回線	マグネット着脱式	R2	15	約8km	約11km	約20分
中信署	無線・携帯電話 (SMS)	マグネット着脱式	R4	10	約5km	約8km	約20分

参考：農林水産省HP「鳥獣被害対策に活用出来る機器情報」

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/kiki\\_jouhou/kiki\\_jouhou.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/kiki_jouhou/kiki_jouhou.html)

## 捕獲に関する覚書・協定

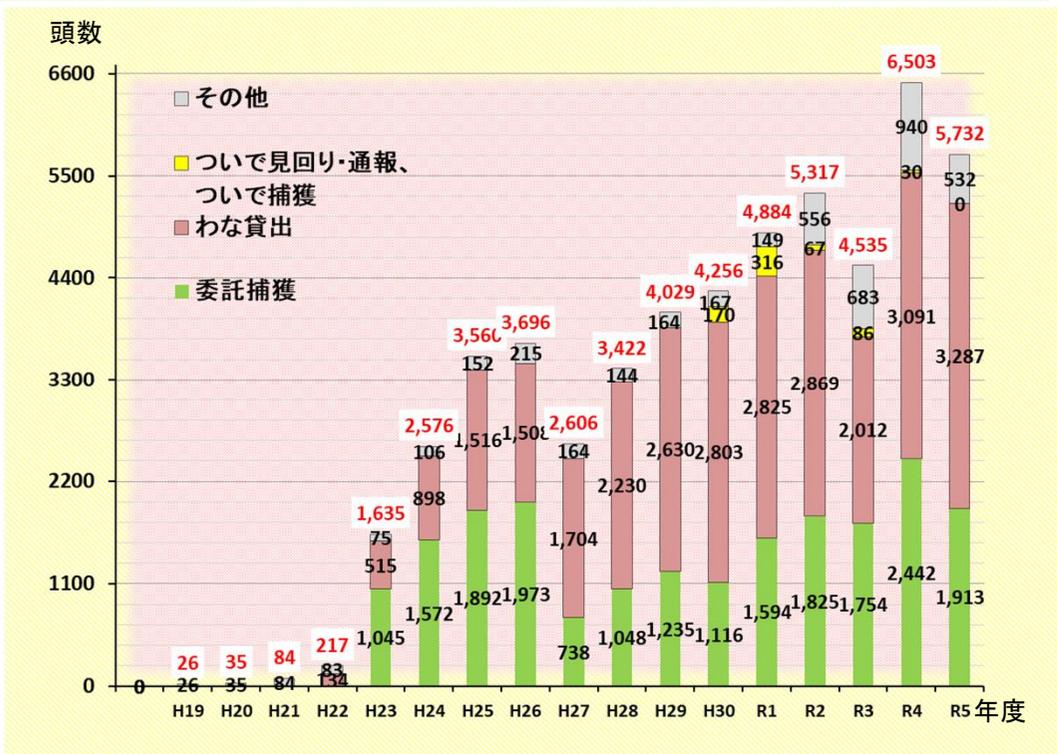
- ◆「長野県、長野県猟友会、中部森林管理局の三者による覚書」(平成29年11月締結)  
各地域の国有林内での捕獲に関する協定締結の推進、関係者の合意形成、情報共有等により捕獲を推進
- ◆「国有林野内におけるニホンジカ等の捕獲に関する協定書」  
国有林野内への車両の乗り入れにより、ニホンジカ捕獲を推進
  - 北信森林管理署 木島平村  
(相手方)木島平村猟友会 (立会人)木島平村有害鳥獣駆除対策協議会
  - 北信森林管理署 信濃町  
(相手方)信濃町猟友会 (立会人)信濃町有害鳥獣駆除連絡協議会
  - 東信森林管理署 佐久地域  
(相手方)北佐久連合猟友会、南佐久連合猟友会 (立会人)佐久地区野生鳥獣保護管理対策協議会
  - 南信森林管理署 下諏訪町  
(相手方)下諏訪町猟友会 (立会人)下諏訪町野生鳥獣対策協議会、下諏訪町
  - 南信森林管理署 伊那市  
(相手方)上伊那猟友会 (立会人)伊那市
  - 木曾森林管理署及び南木曾支署 木曾地域  
(相手方)木曾猟友会 (立会人)長野県木曾地域振興局(木曾地区野生鳥獣保護管理対策協議会)
  - 愛知森林管理事務所 設楽町  
(相手方)設楽町猟友会 (立会人)新城・北設広域鳥獣害対策協議会



# 中部森林管理局管内における捕獲の状況

シカの捕獲は平成19年に開始し、平成22年からくくりわなの貸出、平成23年から猟友会への捕獲委託、平成30年からは「ついで捕獲」、「ついで見回り・通報」等を行っています。

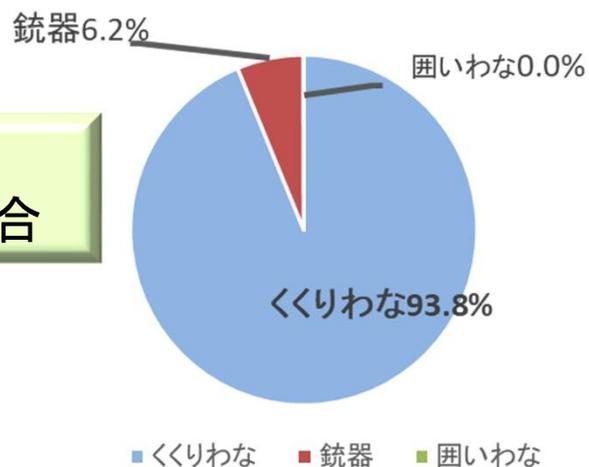
## シカ捕獲頭数(平成21年度～令和5年度)



## 令和5年度 委託契約・わな貸出実績

署等名	委託契約先及びくくりわな貸出先	団体数
北信	信濃町猟友会、木島平村猟友会、JA長野第一有書鳥獣対策協議会、長野市(戸隠支所・鬼無里支所)	4
中信	大北地区猟友会、安曇野市猟友会、松塩筑猟友会、美ヶ原牧場畜産農業協同組合、大町市	5
東信	北佐久連合猟友会、東御市猟友会、真田町猟友会、南佐久地区猟友会、上小広域捕獲推進協議会、美ヶ原牧場畜産農業協同組合	6
南信	伊那市猟友会、中川村猟友会、下諏訪猟友会、宮田村猟友会、南北八ヶ岳保護管理運営協議会、南アルプス食害対策協議会、霧ヶ峰草原再生協議会、中央アルプス野生動物対策協議会、伊那市、飯田市、茅野市、富士見町、下諏訪町、松川町、原村、中川村、富丘村、宮田村、阿智村	19
木曾	木曾猟友会福島支部、木曾猟友会日義支部	2
南木曾	木曾猟友会南木曾支部	1
飛騨	飛騨猟友会	1
岐阜	郡上市猟友会、七宗町猟友会、岐阜市金華山一帯のイノシシ被害対策協議会	3
東濃	中津川市神坂猟友会、恵那市猟友会、中津川市猟友会中津支部	3
愛知	設楽町猟友会	1
計		45

## 令和5年度 捕獲方法別の割合



(注)：\_は、わなの貸出しと捕獲委託(協力金含む。)との両方を支援  
それ以外は捕獲委託またはわなの貸出しによる